

「戦争は弱いもんが、犠牲になるとです。」

念願叶って懐かしい祖国に一時帰国した王桂花(日本名:鈴木春代)。鹿児島島の錦江湾の浜辺で、ボランティアに自身の半生を語り始めた。「わたしたち夫婦は、新しい生活を目指して満州(中国北東部)開拓団に加わり、大陸へ渡りました。農業も順調、子宝にも恵まれて、私たち家族は幸せでした…。」

その幸福も日本の敗戦によって激変する。逃避行の中で春代は我が子に手をかけ、匪賊に襲われ、夫にも見捨てられる。置き去りにされた彼女を助けてくれたのは中国人の王才人。彼との間に子供も生まれ、再び新しい家族と幸せを見いだしたのもつかの間、中国全土に吹き荒れた文化大革命の嵐で彼女の家族はバラバラに…「私たちは、日本の国へ何も言うことはありません。ただ、私たちのような者が中国の地にまだいることを、忘れないで下さい。」

忘れられない記憶があります。
伝え聞いた歴史があります。
知らなかった事実があります。

澄和Futurist賞



毎日新聞社提供

右から、神田さち子さん、津端英子さん、山田洋次さん、村石久二澄和理事長

澄和Futurist賞とは、市民目線の平和関連活動に地道に取り組む個人、団体を表彰するものです。(毎日新聞社後援)

1.趣旨

「より良い未来構築の為」に、市民目線で地道に取り組んでいる個人または団体を表彰し、その意義ある活動がより広く認知され、さらなる理解協力が得られるよう応援するものです。

2.選考

賞の名称(サブタイトル)にあるとおり、「人の和」「自然との調和」も含めた広義の平和関連テーマに長年取り組む方が3組程度選定されます。

プロフィール

◎神田さち子/出演

満州(現中国北東部)撫順生まれ。朝倉高校、西南学院大学卒業。「神田さち子語りの会」主宰。「車いすの語り部」との二人三脚の歩みは有名。その体験記が文部大臣賞受賞。(1982年)1996年から取り組んでいるライフワークのひとり芝居「帰ってきたおばあさん」(第55回文化庁芸術祭参加作品)は国内外で絶賛上演中。

2012年3度目の訪中で日中友好提携40周年記念公演として大連・北京公演。2015年3月安徽省公演。その模様を同年4月、NHKBS1「国際報道2015」で放映。そのほか2016年終戦70周年として「おはよう日本」8:45NHKニュースに出演。1997年アメリカ、2010年イタリアでのジャパンフェスティバルに参加公演、名古屋御園座、映画「ユリイカ」、映画「望郷の鐘～満蒙開拓団の落日」映画「母」～小林多喜二の母の物語」他に出演。NHKラジオ「日曜訪問」、RKB毎日放送、FBSほか多数出演

主な著書に「あなたに伝えたくて」「心のはらっぱ一語り愛つむぐ」「奈良の伝説」「奈良のむかし話」。

◎良永勢伊子/原作

1931年福岡県生まれ。福岡外事専門学校(現福岡大学)卒
1986年「赤い夕陽の大地」が読売女性ヒューマンドキュメンタリー大賞にて優秀賞。日本テレビより放送される。

主な著書に「忘れられた人々ー中国残留婦人たちの苦闘の歲月」、「哥哥を尋ねて」「中国1985年夏」他。

◎杉山義法/演出・上演台本

1932年新潟県生まれ。日本大学芸術学部出身。
NHK「天と地と」「赤ひげ」「春の坂道」「宮本武蔵」「妻たちの二二六事件」「風見鶏」「夏の光に…」(モンテカルロ国際テレビ脚本賞)。

日本テレビ「忠臣蔵」(テレビ大賞特別賞85)「白虎隊」(同優秀作品賞86)「田原坂」【ATP優秀作品賞87】他。
演劇製作者集団ドラマバンク主宰。

スタッフ

<企画制作>神田さち子語りの会 <舞台監督>野口ひろし

<照明>土田保照明事務所 <音響>拝野暢男、西田実

<音楽>中田崇、富永節子 <演出助手>奥野月琴 <写真>犬塚治男